

ささえあいのまちづくりフォーラム

「考えようこれからの事!~不安が安心に変わる地域へ~」をテーマとして、講演会とパネルディスカッションを行います。「買い物に行くのが大変になってきた」、「近くに話し相手が少なくなってきた」など日常のちょっとした困りごとなどの解決方法をみんなで一緒に考えていくために、多くの人の参加をお待ちしています。

ささえあい・みよし (三芳町生活支援体制整備推進協議体) では、「いつまでも安心して暮らせる地域づくり」をめざして、身近な地域での支え合い活動の仕組みづくりを進めています



- ▼日時 **2/25 (水) 14:00 ~ 16:25**
- ▶場所 藤久保公民館 ホール
- ▶料金 無料
- ▶講演 「お互い様の支え合いがある地域活動の推進」
- ▶講師 さわやか福祉財団理事長 清水肇子 氏
- ▶定員 150人
- ▶申込み ささえあい・みよし事務局 (三芳町社会福祉協議会 ☎ 258-0122 FAX258-0180) へ窓口・電話・FAX で名前・連絡先を伝えて申し込み。



無料接種 平成9年度~平成20年度生まれの女性 子宮頸がん予防接種 (HPVワクチン)

HPV ワクチンの接種機会を逃した人のキャッチアップ接種期間が令和8年3月31日まで延長されます。延長の対象となるには、令和7年3月31日までに1回以上接種をする必要があります。キャッチアップ接種期間中は公費 (無料) で接種ができます。

公費での接種を希望する人で1度も接種を受けていない場合は、今年度中に1回以上の接種が必要です。お早めの接種をご検討ください。

キャッチアップ接種期間延長対象者
下記の①、②の両方に該当する人
①三芳町に住居登録があり、平成9年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた女性
②令和4年4月1日から令和7年3月31日までにHPV ワクチンを1回以上接種した人

▶申込み 二市一町の実施医療機関に直接申し込み。
※二市一町実施医療機関以外で接種を希望される場合は、お問い合わせください。



認知症講座開催

- ①認知症サポーター養成講座
3/4・25 (水) 14:00 ~ 15:30 ※両日、同じ内容です
- ▶場所 三芳町認知症サポートセンター ▶料金 無料
- ▶定員 15人 ▶対象 町在住・在勤者
- ▶内容 認知症の症状や認知症の人への接し方など、認知症についての正しい知識を学びます。

- ②認知症サポーターステップアップ講座
3/11・3/21 (金) 14:00 ~ 16:00 ※2日間コース
- ▶場所 三芳町認知症サポートセンター ▶料金 無料
- ▶定員 15人 ▶対象 認知症サポーター養成講座修了者
- ▶内容 地域でのボランティア活動などを行うためのステップアップ講座を開催します。
- ▶申込み ①②ともに下記窓口・電話・FAX で名前・連絡先を伝えて申し込み。
- 問 三芳町認知症サポートセンター ☎ 259-2525 FAX274-3366

下記のイベント会場は全て中央図書館

申込みは中央図書館へ。

赤羽茂乃さん講演会 (子どもの本の講座) 「スーホの白い馬」の草原を渡って-画家・赤羽茂乃の人生と絵本-

3/16 (日) 14:00 ~ 16:00 (受付: 13:40 ~)

- ▶対象: 誰でも
- ▶定員: 40人 (就学前のお子さんは保護者同伴でお願いします)
- ▶場所: 中央図書館 視聴覚室
- ▶講師: 赤羽茂乃氏
- ▶内容: 日本人初の国際アンデルセン賞画家賞を受賞し、『スーホの白い馬』(国語の教科書に掲載)など多数の名作絵本で知られる絵本画家・赤羽末吉。彼の人生と絵本について、赤羽作品研究の第一人者であり、家族としても寄り添ってこられた赤羽茂乃さんにお話しいただきます。
- ▶申込み: 2/19 (水) 10時から中央図書館で受付。電話・HPからの申し込み可。(申込先着順・無料)



▲赤羽茂乃さん



「スーホの白い馬」(福音館書店)

中央図書館・竹間沢分館・配本所
2/10 (月) ~ 18 (火) は蔵書点検休館です。



図書館だより



中央図書館 ☎ 258-6464
開館時間 / 10:00 ~ 19:00 (土・日・祝 18:00 まで)
休館日 / 毎週月曜日・月末 (土・日除く)
竹間沢分館 ☎ 274-1722
開館時間 / 11:00 ~ 18:00 休館日 / 毎週月曜日・月末 (土・日除く)
配本所 (中央公民館内) ☎ 258-0050
開館時間 / 9:00 ~ 22:00 ※公民館の休館に準ずる
休館日 / 原則第1月曜日 (中央公民館休館日)

《口承文芸》にまつわる本別置紹介中



一般書
『落語を聴いてみたけど面白くなかった人へ』
頭木 弘樹 / 著
筑摩書房 2020年8月発行
請求記号 B779 か

落語は落ちが命と言われるのに、何が面白いのか分からなかった。そんな人に向けて落ちとは何か、落語と小説は何が違うのかを分析しつつ、落語独自の魅力を解説する。“耳の物語・落語”の楽しみ方をQ & A形式でわかりやすく紹介する入門書。

みよし歴史探訪

れきしとくらし 第三十五回 三富開拓地割遺跡その①

三富新田は、三芳町の西部域にあたる上富地域から所沢市東部域の中富・下富地域に広がります。今から約330年前の江戸時代元禄年間、当時川越藩主であった柳沢吉保の命により、開拓が進められました。現在でも、開拓された当時の畑作新田の景観を残していることから、三富開拓地割遺跡として埼玉県の旧跡に指定されています。

三富と水
三富の開拓にあたっては、いくつかの苦労がありました。そのひとつが生活に必要な水を得ることです。
上富地域の近くには、河川がありません。開拓が進められて間もない頃、水を得るために、多摩郡箱根ヶ崎(現在の東京都瑞穂町)の池より水路を引く計画がありました。この水路は、文久3年(1863年)の上富村地割絵図(写真1)に描かれています。が、実際に水路をひく計画は実現することが叶わなかったようです。その代わりとして三富全域で11ヶ所の深井戸(約22m)が掘られて数軒が共同で利用することで水を得ていました。それでも、渇水期はその深井戸さえも水が

三富新田は、三芳町の西部域にあたる上富地域から所沢市東部域の中富・下富地域に広がります。今から約330年前の江戸時代元禄年間、当時川越藩主であった柳沢吉保の命により、開拓が進められました。現在でも、開拓された当時の畑作新田の景観を残していることから、三富開拓地割遺跡として埼玉県の旧跡に指定されています。

枯れてしまい、数km離れた柳瀬川まで歩いて水を汲みに行ったとも言われています。

次号では、三富開拓地割遺跡の発掘調査で発見された水路と思われる「溝跡」について詳しく紹介します。

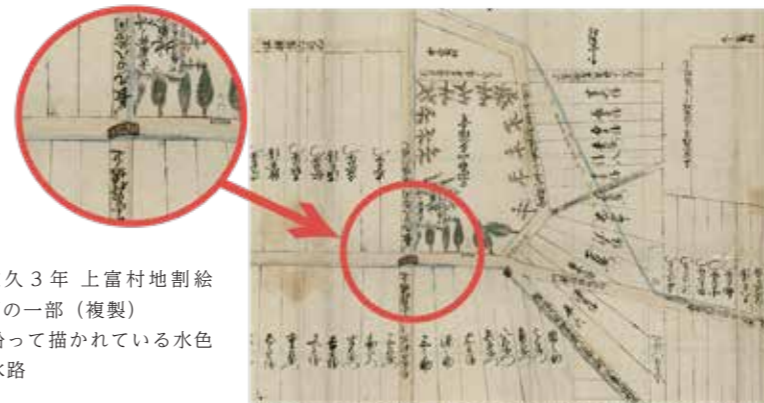


写真1: 文久3年 上富村地割絵図の一部(複製)
※道路に沿って描かれている水色の線が水路

▼休日・夜間・小児時間外診療・救急病院

施設名	休日急患診療所	イムス富士見総合病院 (入院等が必要な救急小児)
所在地	☎ 264-9592 (ふじみ野市駒林元町 3-1-20)	☎ 251-3060 (富士見市鶴馬 1967-1)
診療日	日曜・祝日・年末年始	月・木曜
診療時間	9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 16:00/19:00 ~ 21:00	月・木が平日▶ 18:00 ~ 翌 8:00/ 月・木が祝日▶ 8:00 ~ 翌 8:00

▼救急病院

イムス三芳総合病院	ふじみの救急病院	三芳野病院
☎ 258-2323 (藤久保 974-3)	☎ 274-7666 (北永井 997-5)	☎ 259-3333 (北永井 890-6)

24時間体制で受付中
困ったときの医療機関案内 ▶ 埼玉県救急電話 ☎ # 7119 (IP 電話は 048-824-4199)
埼玉県 AI 救急相談 (チャット形式。右記二次元コードから) ▶

24時間対応 県 AI 救急相談はここからアクセス

